本日の議題

1. 富山県人材確保・活躍パッケージの展開状況について

2. 富山県人材確保・活躍パッケージの今後の方向性について

本日の議題

1. 富山県人材確保・活躍パッケージの展開状況について

2. 富山県人材確保・活躍パッケージの今後の方向性について

「富山県人材確保・活躍パッケージ」について

富山県

○ エッセンシャルワーク分野を中心とした深刻な人材不足に対応するため、**R8.2月、総合的施策「富山県人材確保・活躍パッケージ」を取りまとめ・公表**

- 総事業数**277本**、予算規模**約167億円**
- **「人材確保」「働き方改革」「人材育成」「省力化・省人化」の4つを大きな柱**に、これまで各分野で**「点在していた施策」**を**「一体的に同時展開」**する体系へと再編。

○ **「組織中心」から「人中心」への発想転換を促す**

「富山で働く価値」を体現する好事例を創出しながら、**人が自然と集まり、定着し、活躍する好循環をなす「人材確保・活躍の富山モデル」の構築を目指す**

<参考：人材確保・活躍に繋がる示唆に富む好事例>

○ **おおさわの福祉会 ささづ苑（富山市）：**

・様々な取組みを通じて、職員の働きやすさを高める
人材確保…副業・兼業人材、スポットワークの活用
働き方改革…女性活躍、仕事と子育ての両立支援
省力化・省人化…積極的なICT技術の導入　など

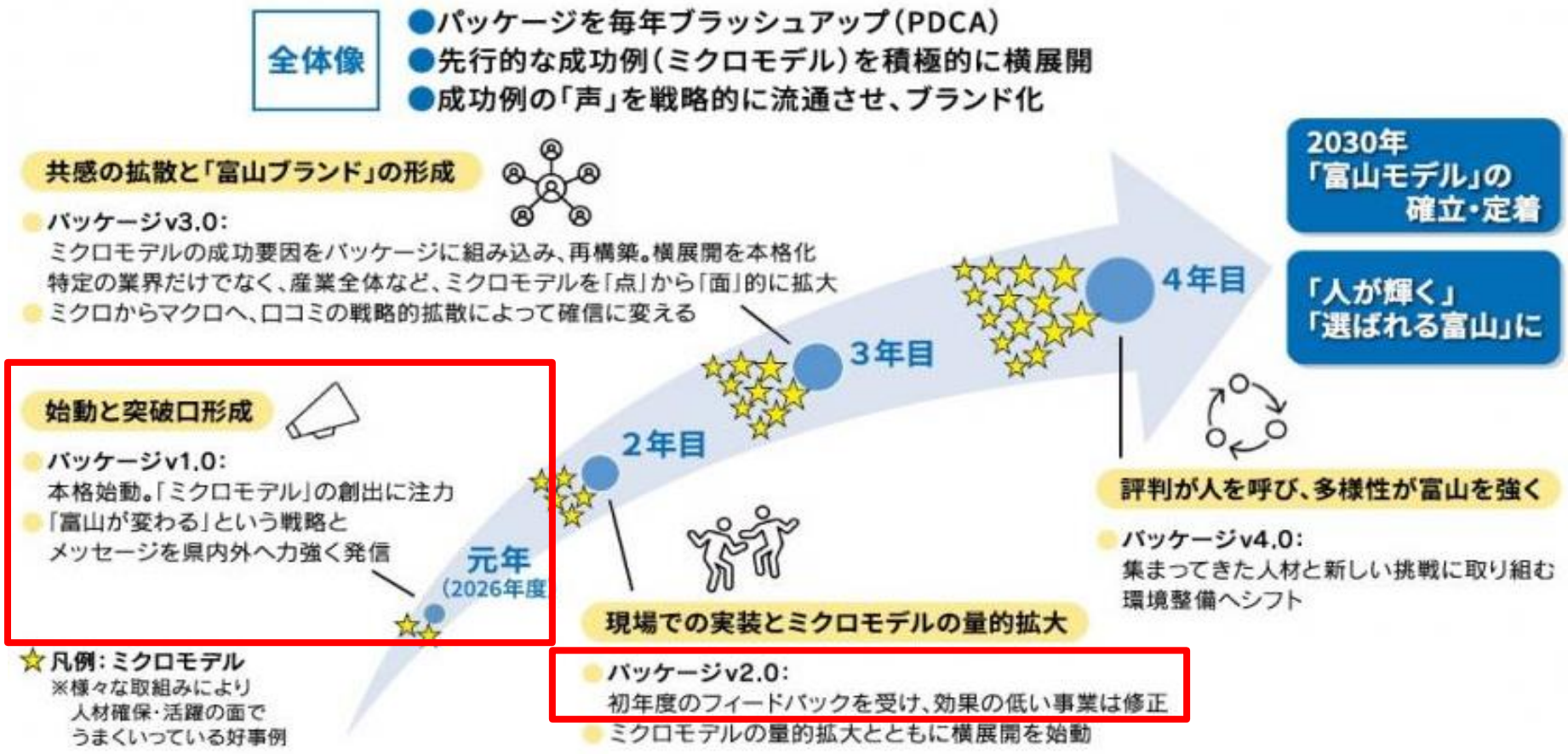
横展開要素：職員が働きやすい職場環境の整備

出典：県広報とやま7月号

富山モデルの構築に向けて

○「人材確保・活躍の富山モデル」の構築に向けたロードマップに基づき、以下に取り組むこととしている

- とやま人材活躍応援団の協力も得て、人活パッケージの展開、好事例の創出等
- 来年度に展開する人活パッケージ2.0に向けた施策検討・ブラッシュアップ



とやま人材活躍応援団の創設について

富山県

○ 応援団の趣旨・役割

富山モデルの構築を県民運動として推進するため、

①各企業等に対して、「組織中心」から「人中心」への発想転換と人活パッケージの各施策の活用を促していただく

②各企業等における、好事例の創出を支援し、その実践を収集・可視化し、県内への共有・横展開に協力いただく

○ 応援団の想定メンバー

・経済団体、金融機関、分野団体、教育機関、自治体、報道機関など企業や個人を支援いただける団体等の登録を想定

※R8.8.31時点で37団体・社の登録

○ スケジュール（予定）

6月～	応援団の募集案内開始
10月8日	連携ミーティングの開催
R9.2～3月	好事例発表会の開催

施策展開状況： 外国人材定着ﾓﾃﾞﾙ企業支援事業 【地方創生局】

富山県

○ 外国人材の県内企業への定着や地域との共生に向けて、「とやま外国人材活用・定着支援デスク」の定着支援員（行政書士）や地域おこし協力隊員が、**日本語教育**、**職場環境整備**、**地域交流**等の取組みを行う**モデル企業を伴走支援**

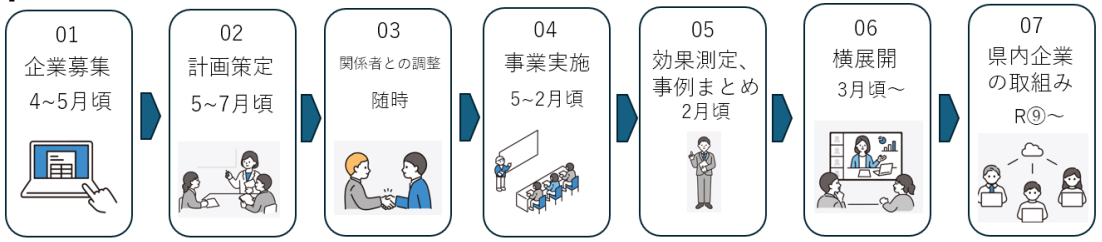
（地域おこし協力隊員は、11月頃に採用・活動開始予定）

○ **好事例を創出し、広く展開**することで、県内企業の外国人材定着や地域との共生の取組みにつなげる。

■モデル企業

	日本語教育	職場環境整備	地域交流
フレンドリー・エレバテック(株) （富山市池多 製造業）	社内日本語講習の充実	現場マネジメントを担う中核人材の育成	企業内団地の清掃活動や地域行事への参加
（株）旭工業 （南砺市殿 製造業）	地域日本語教室での学習の支援	工場内の安全表示の視覚化	地域の祭への参加
中越鉄工（株） （南砺市和泉 建設業・ 製造業）	組織的な支援体制の整備	文化・宗教に配慮した職場ルールの整備・明文化	地域行事への参加、やさしい日本語での地域情報の発信
（株）MOVEON 精機 （高岡市長慶寺 製造業）	業務で使用する専門用語の教育	社内でのサポート事項のリスト化	地域の祭への参加

■事業スケジュール



施策展開状況：「地域とつながる」富山暮らし体験事業 【地方創生局】

富山県

○ 6/20から射水市、上市町で募集開始。申込者56名（8/25時点）。
　8月から来訪が本格化。

「地域とつながる」富山暮らし体験

県外の人が約2週間、富山に滞在し、地域で“暮らすように過ごす”体験プログラム

リモートワーク/体暇

地域の人との交流

地域ならではの体験

地域の魅力を発信（SNS投稿）

現地サポーターが伴走し、地域の人とのつなぎ役に

事業の流れ

富山を知る・来る	来訪【随時】	関係人口になる	将来の選択肢へ
SNSや口コミで富山に興味を持ち、体験に参加	地域の人との交流や体験を通じて、富山の魅力に触れる	また来たい、関わりたいと思い、地域とのつながりが継続	移住・就業・起業・二地域居住など、多様な関わりへ発展

SNS等での情報発信により、富山の魅力が広がり、さらなる来訪者を呼び込む好循環へ

人と地域のつながりが未来をつくる

将来の人材確保・活躍へ

移住・就業・起業など地域を担う人材に

関係人口・ファンとして継続的に地域を応援

地域の企業・団体とのマッチングや協働へ

施策展開状況： とやま観光ビジネスアカデミー事業 【観光推進局】

富山県

○ 稼げる観光人材の育成とネットワーク構築を図るため、令和7年度までの「とやま観光塾」をリニューアルし、令和8年度に「とやま観光ビジネスアカデミー」を新設

○ 県内外の一流講師による専門知識と、観光地等での実践を組み合わせた少数精鋭型の人材育成を実施

○ 延べ901名が修了、地域通訳案内士（62名）として活動や新規事業の立ち上げなど、県内観光現場で活躍

今年度受講者：3コースで計24人

観光ビジネスコース

商品造成プランを構築

インバウンドガイドコース

地域通訳案内士の取得

グローバルコース

インバウンド事業の起業

施策展開状況： 持続可能な観光地域づくり支援事業費補助金 【観光推進局】

富山県

○ 補助メニューのひとつとして、観光事業者等を対象に、**インバウンド等に対応した受入環境整備や観光産業の収益・生産性向上**に資する取組等を支援

○ オンライン予約・決済システム等の**デジタル技術の導入**や、自動チェックイン機、配膳や掃除ロボットなど**無人化、省力化に資する取組**、従業員施設の改修など**労働環境の改善**等

○ これまでの実績として、飲食サービス業で多言語に対応したオンライン予約・決済システムの導入や、宿泊業で自動チェックイン機、清掃ロボット等の導入による省力化等を支援

施策展開状況： 行政職員の確保 【経営管理部】

富山県

複雑・高度化する行政課題に対応するため、県職員等の確保に向けた取組みを強化

○ インターンシップの充実（就活情報サイト「マイナビ」を活用し、募集を強化）
・事務系：従来の5日間のインターンシップに加え、R8から新たに1日のオープン・カンパニーを実施
募集定員を60名から、125名に倍増。応募者数は前年度の約1．8倍（R7：166名⇒R8：295名）
・技術系：R8応募状況　113名（R8.8月時点）　過半数の職種で前年度を上回る応募

○ 技術職の確保
・県外からの人材確保に向けて、関連学部・学科を持つ県外大学を直接訪問し、採用広報活動を強化

行政組織の枠組みにとらわれない持続可能な行政サービスのあり方の検討

○ 市町村と連携した人材確保
・県・市町村合同採用説明会を開催し、市町村の人材確保を支援
（8/11開催　参加者：約260名）
・市町村の自治体基幹系システム標準化後の運用等を伴走支援するため、
県において、市町村に巡回配置する専門的なデジタル人材を確保

○ 持続可能な行政サービスのあり方を未来志向で検討
・氷見市役所内に県の高岡農林振興センターサテライトデスクを設置し、
県農業職と市職員とで地域計画実現のために協働
・県内初の土木インフラの群マネの試行
・災害発生時の農業用施設の相互応援体制の構築（8月下旬の大雨対応で活動開始）

▲県・市町村合同説明会

施策展開状況：公共交通人材確保・活躍推進 【交通政策局】

富山県

○ 富山地方鉄道は、プライベート空間を備えた休憩室をリニューアルし、働きやすい職場環境を整備。

○ バス運転手専門の就職イベント「どらなびEXPO」（東京）に、路線バス事業者（富山地方鉄道・加越能バス）と連携しブース出展。

○ バス運転手の魅力や県内バス事業者への理解を深めてもらうため、バス営業所見学会を開催し、営業所の見学のほか運転体験や座談会を実施。 県内外から、17名が参加。「どらなびEXPO」の参加者を含め県外からは9名が参加。

○ 上記のバス営業所見学会等を通じて、これまで20代の男女を含む6名が採用。

リニューアルしたバス運転手休憩室（R8.4.1～）
職場環境の改善を図り採用力を強化

どらなびEXPO2026春　東京（R8.5.16）
富山県ブースでの相談の様子

バス営業所見学会（R8.7.4）
現役運転手や人事担当者との座談会の様子

施策展開状況：福祉人材の確保・定着に向けた取組み【厚生部】

富山県

福祉・介護人材マッチング・定着強化事業（外国人材マッチング）

○ 外国人材の受入れに消極的な事業者が多い中、介護事業所における外国人材のマッチングから定着までを一体的に支援。現在は、外国人材未受入事業者向け説明会を進めている。

○ 今後は、既受入施設の体験談を紹介するほか、海外現地との交流機会を提供。

▲説明会チラシ

保育士の人材確保（潜在保育士の掘り起こし）における実証実験

○ 民間提案制度を活用し、民間事業者と潜在保育士の掘り起こしに関する実証実験の実施について協定を締結。
（実証実験期間：令和8年8月17日～11月30日）

○ 事業者が提供するスポットワークのサービスを利用し、潜在保育士が短時間・単発から就労を始めて段階的に復職できる環境を整える仕組みづくりを検証。

▲潜在保育士の掘り起こし実証実験

介護・障害福祉分野における介護テクノロジー導入支援

○ 介護・障害福祉サービス事業所に対し、ロボットやICT機器等の介護テクノロジーの導入・定着にかかる費用を補助。

○ とやま介護テクノロジー普及・推進センターにおいて、相談窓口の設置、導入～活用にかかる研修、専門家の伴走支援によるモデル事業所の育成を実施。

▲移乗ロボット

施策展開状況：富山マッチボックスの開設 【商工労働部】

富山県

○ スポットワークの利用を促す、県独自の人材マッチングサービス「富山マッチボックス」を7月1日(水)から開始
（農業分野で先行実施の「富山あぐりマッチボックス」の仕組みを発展させ、対象を全産業へ拡大）

○ 本事業を起爆剤に、県内の人材確保と柔軟な働き方の推進に繋げる。加えて、介護・看護、建設分野については、重点的に普及・展開を支援し、本県の喫緊の政策課題にも対応

○ 登録状況(R8.8末時点) 事業者数：255社、求職者数：2,749人 ※あぐりマッチボックスからの継続分含む
うち、新規登録分 事業者数：50社、求職者数： 1,185人

○ 利用状況(R8.7～8) 求人掲載件数：1,922件、採用件数：1,179件
うち、注力分野(介護・看護、建設) 求人掲載件数：341件、採用件数：34件

出典：富山テレビ（令和8年8月27日）

施策展開状況：中小企業トランスフォーメーション補助金 【商工労働部】

富山県

○ DXやGXを通じた業務プロセス・事業構造の変革や、人材不足に対応するための省力化・省人化による生産性向上に取り組む中小企業・小規模事業者を支援

【募集期間】R8.2.27～R8.7.31 ※追加募集（R8.8.10～R8.9.4）を実施中

【採択状況】

区分	補助率		補助額		申請件数
	中小・組合	小規模	上限	下限	
(1) 【新】省力化・省人化モデル枠	2/3	3/4	1,000万円	200万円	254
(2) DX枠※	1/2	2/3	500万円	100万円	
【新】AI導入枠※	2/3	3/4			
(3) GX枠※	1/2	2/3			

【採択事例テーマ】

・多品種対応型ネジ締め工程自動化によるデータ活用体制の構築（省力化・省人化モデル枠/製造業）

・AIを活用したBIM導入による業務効率化及び省力化（AI導入枠/建設業）

※BIM（Building Information Modeling）：従来の平面な設計図ではなく3Dモデルを作ってさまざまな角度から設計図を確認できるシステム

・データ活用による物流パートナーへの事業変革（DX枠/運輸業） 等

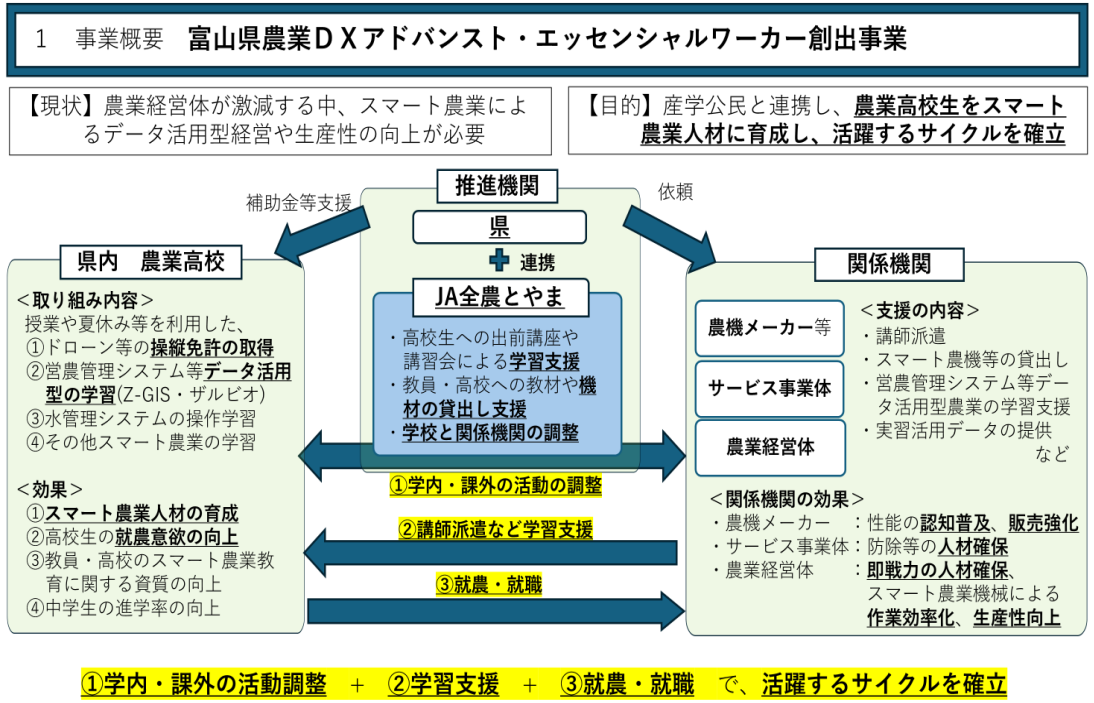
施策展開状況：農業DXアドバンストエッセンシャルワーカーの創出 【農林水産部】

富山県

○ スマート農業人材を安定的に育成し、就農等による県内で活躍するサイクルを確立することを目指し、JA全農とやまや農機メーカー等と連携し、①ドローン操縦資格取得講習（定員10人）や②データ活用型農業等に係る出前講座の実施など農業高校生のスマート農業の学習支援を実施

○ 8月末の実績：①【1回目（県西部）】8/24～28（於　小矢部園芸高校）受講者4人（3年生2人、2年生2人）

○ 今後の取組み：①【2回目（県東部）】12/14～18（於　中央農業高校）②各校の希望をとりまとめて実施



出典：NHK（令和8年8月25日）

施策展開状況：ケンセツジョブフェスの開催 【土木部】

富山県

○ 若い世代に建設業の仕事内容や、建設企業で働くことの魅力を幅広く発信するため、事業者団体、高校、大学等と連携し、9月26日(土)に富山駅で「ケンセツジョブフェス2026」を開催（今年で4回目の開催）

○ 今年は、建設現場で活躍する車両の展示・乗車体験、電鉄富山駅高架化工事の現場見学会などの新たな企画のほか、昨年実施した高校生による建設知識を競うクイズ大会の対象を中学生にも拡大し、より幅広い世代に建設業の魅力を発信

▲イベントチラシ

▲ケンセツジョブフェス2025

▲特設サイト

現場見学会、クイズ大会の
エントリー受付中

施策展開状況：とやまの教職魅力化・働き方改革一体プロジェクト 【教育委員会】

富山県

教職の魅力化・働き方改革を一体的に推進

熱意ある教員志望者や講師を確保するため、
①現職教員のウェルビーイング向上と、②将来の教員志望者の裾野拡大　の両面から取組みを進める

学校多忙化解消の一層の推進

- ☐【地域の学校サポート事業】
- ☐【校務DX展開支援事業】

文部科学省「学校と教師の業務3分類」を踏まえ、学校の実情に合わせた形で、地域人材の活用とDXツールの導入・横展開を支援

【現在実施中の学校】
地域の学校サポート：12校
校務DX展開支援：24校

多様な人材確保のための新たなアプローチ

- ☐【ペーパーティーチャー講習】

教員免許を所持するが経験のない方、しばらく教壇を離れていた方等の入職・復職を支援

9/19（土）第1回実施

- ☐【冬選考（R7～）】

UIJターンを希望する県外の現職教員等を対象とし、高度専門人材・即戦力を確保

12月頃実施に向け準備中

中長期的な視点での教職の魅力体験と発信

- ☐【教員・教職ワークショップ】

大学生・高校生が小学生の野外活動を支援し、勉強を教える宿泊型ワークショップ

秋実施に向け準備中

- ☐【教職オンライン・セミナー】

5月に教員採用検査をテーマに2回実施

今後、教員の働き方・本県の教育事情をテーマに開講予定

「働き方改革」「教職の魅力」について、地域・保護者へ切れ目なく発信する広報戦略を展開

施策展開状況：小・中学生My夢ビジョン事業 【教育委員会】

富山県

児童生徒が夢や目標に向かって、自身の生き方について主体的に考える力を育むキャリア教育を推進

○ キャリア教育資料・リーフレットの作成、9月末から順次配布予定

将来の社会や働き方の変化を知り、自分の進路や生き方を親子で幅広く考えるための中学1年生用資料

＜リーフレット完成イメージ＞

○ キャリア教育出前講座　9月末から実施予定

全庁に協力を依頼、講師を募集（8月現在　約60企業等）

○ キャリア教育における教員の資質向上研修会　①6月10日（水）　②9月15日（火）予定

就業構造の変化に伴うキャリア教育、アントレプレナーシップ教育（※）に関するカリキュラム作成ワークショップ

※自ら社会課題を見付け、課題解決にチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を育成

講師：経済産業省、県商工労働部など　　対象：小中学校教員

○ 市町村教育委員会実務者会議　①6月25日（木）　②1月末予定

皇學館大学教授によるキャリア教育実践事例に関する講演、**市町村の取組みの共有**

施策展開状況：将来を見据えた警察の構造改革 【警察本部】

○　引き続き厳しい採用情勢にある中で、業務の合理化・効率化、業務負担の軽減に向けた構造改革と優秀な人材の確保に向けた採用募集活動の強化、働きやすい職場環境の構築等をいかに推進していくかが課題

○　県警若手WGの提言「時代に即した、魅力ある組織づくり」も踏まえ、人材確保・活躍パッケージ事業を展開

○　令和8年5月、「将来を見据えた警察組織の構造改革及び優秀な警察官の確保に向けた推進体制」を新たに構築

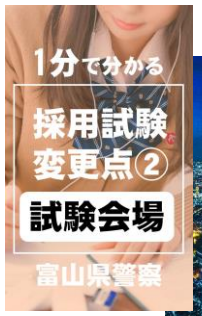
令和8年度の主なパッケージ展開状況

人材確保　**人材育成**　**働き方改革**　**省力化・省人化**

3本柱の人材確保

採用の間口拡大

・採用試験会場拡大（東京会場）
・SPI枠の導入
・合格有効期間延長　等

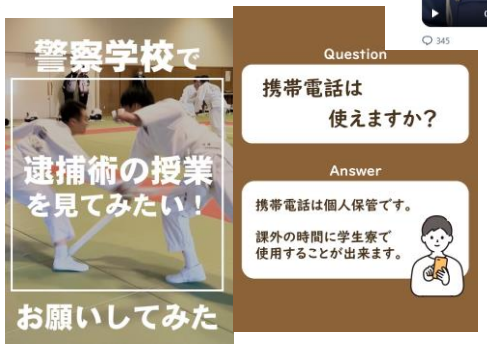


若い世代への発信力強化

・民間企業と連携した県警SNSによる情報発信の強化
・採用パンフレット、SNSの一新（警察学校の授業・寮生活のショート動画）　等

組織の魅力向上

・警察学校ルール見直し（外出・外泊、携帯電話、髪型等）
・ネガティブイメージの払拭
・初任給の改定（増額）等



～　効果　～

令和8年度警察官採用試験（第1回）
受験者数↑　競争倍率↑

構造改革

警察署再編・整備

・（仮称）砺波警察署の整備
・（仮称）高岡警察署の整備
・新川エリア新警察署の整備

▲（仮称）砺波警察署完成イメージ

刑事手続IT化・テレワーク推進事業

・タブレット端末等の導入
・捜査員の業務省力化や職員が柔軟に勤務できる環境整備

～　効果　～

警察の機能強化、働き方改革の推進

本日の議題

1. 富山県人材確保・活躍パッケージの展開状況について

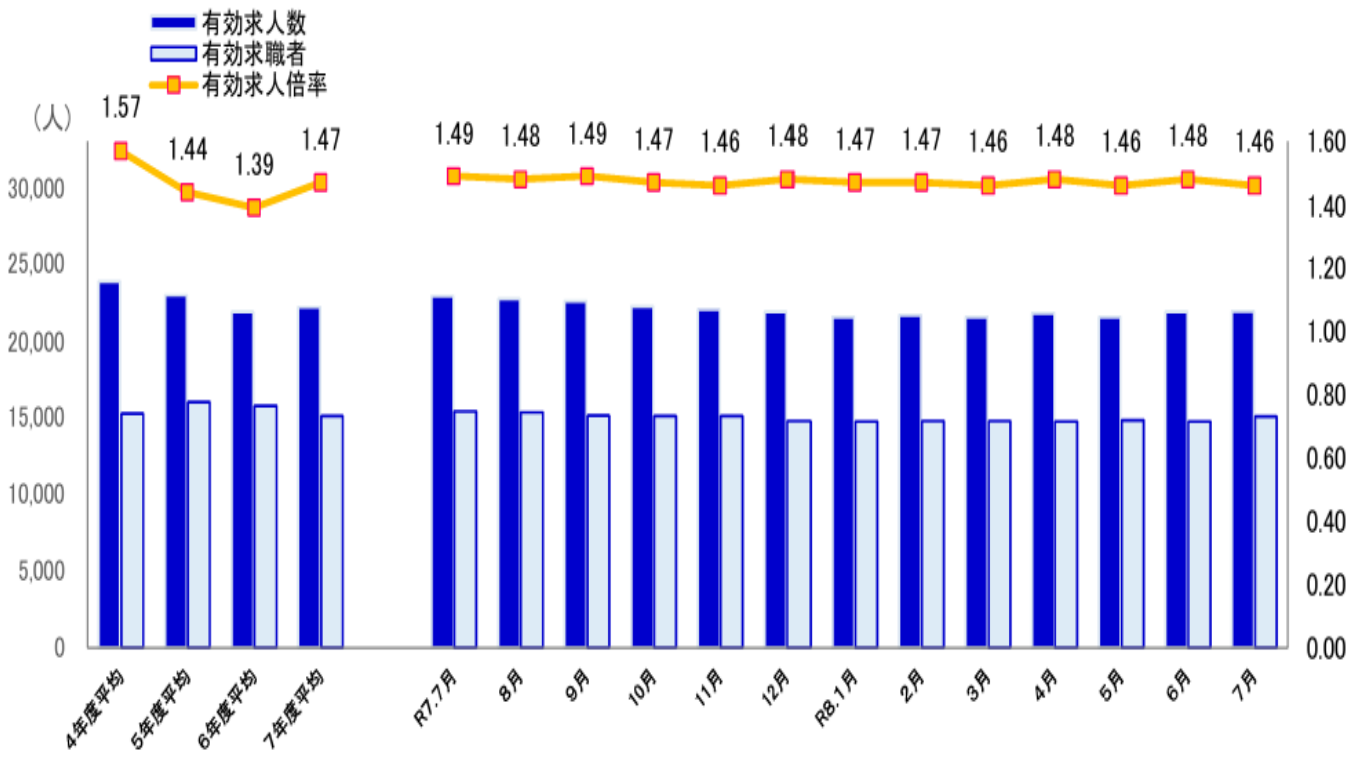
2. 富山県人材確保・活躍パッケージの今後の方向性について

県内の人材不足の状況①

○ 県内の有効求人倍率は高止まりしており、依然として、人材不足の状況が続く。

○ 恒常的に全国平均を上回り、全国でも上位の「人材が足りない」県と言える。

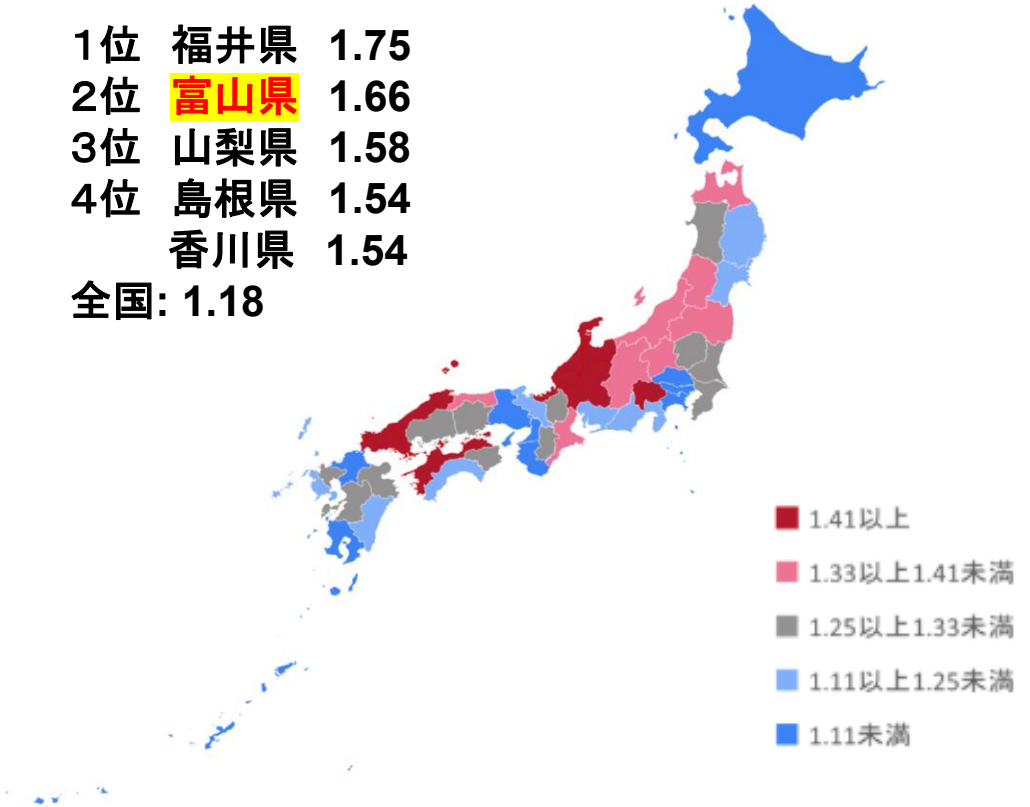
有効求人、有効求職及び有効求人倍率の推移（県内）



出典：富山労働市場ニュース（令和8年7月）＜富山労働局＞

都道府県別　有効求人倍率（令和8年1～3月）

1位　福井県　1.75
2位　富山県　1.66
3位　山梨県　1.58
4位　島根県　1.54
　　香川県　1.54
全国: 1.18

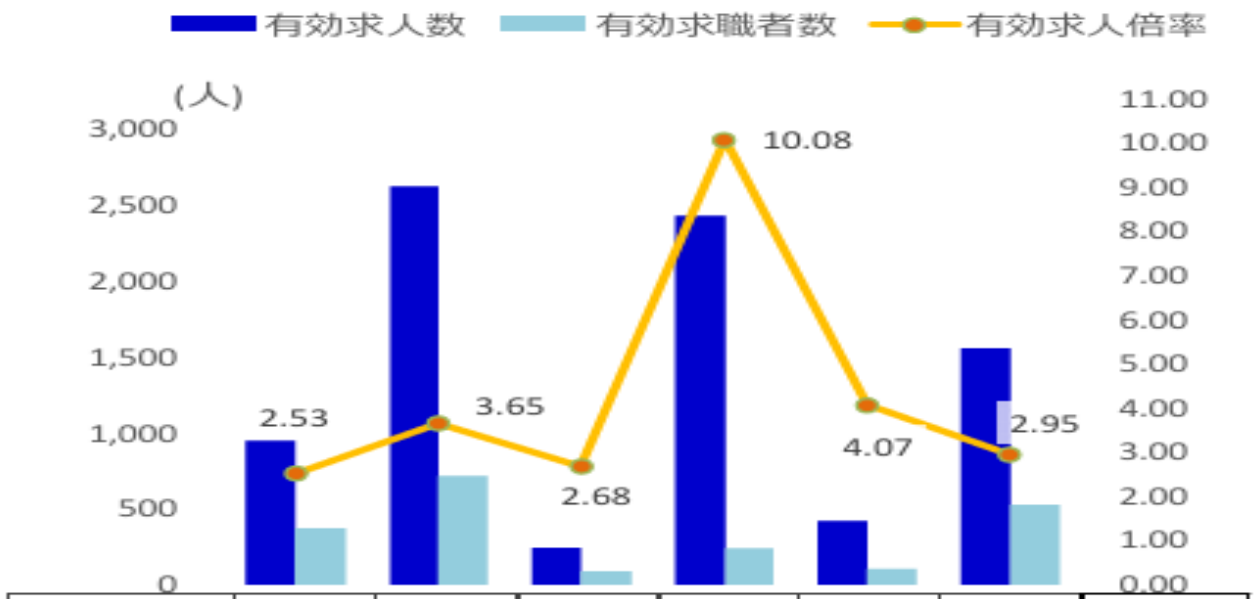


出典：厚労省ホームページ（みんなの労働ナビ）

県内の人材不足の状況②

○ エッセンシャルワーク分野では、県平均の有効求人倍率（1.47 令和7年度平均）を大きく上回り、人材不足が深刻。

職業別有効求人倍率（令和7年度平均）（常用・原数値）



	1. 医療	2. 介護	3. 保育	4. 建設	5. 警備	6. 運輸	人材不足分野計
有効求人数	951	2,624	246	2,427	423	1,558	8,227
有効求職者数	376	718	92	241	104	528	2,059
有効求人倍率	2.53	3.65	2.68	10.08	4.07	2.95	4.00

出典：富山労働市場ニュース（令和8年3月）＜富山労働局＞

強い経済実現のための地域人材戦略

富山県

○ 令和8年7月に行われた全国知事会議in鳥取にて、知事より、地域経済の持続的な成長を支える人材の確保・育成を最重要課題として位置づけ、**「地域人材戦略」**（単に不足する人材を確保するだけではなく、**地域の産業構造や将来像から逆算し、必要な人材をどう育て、呼び込み、活躍につなげるか）の視点**で、**以下の3つの柱に沿って取り組む方向性を発信**。

① 産業連動　② 教育改革　③ リスキリング・人材還流

全国知事会議in鳥取（R8.7.15～17）

一方で、地域での人材確保・育成だけでは限界があることから、

国に対して、特に、人材還流・移住を伴う広域的な人材循環の推進に取り組むなど、地方の成長を支える人材戦略を国家戦略として強力に推進するよう、働きかけ

① 産業連動

○ 富山県地域産業成長プランと連動し、強い経済をつくる基盤となる人材育成に取り組む

○ バイオ・医薬品分野での先行的な取組みを活かしながら、**各重点分野で必要となる人材像を明確にし、教育機関や企業と連携して育成・確保策を具体化**

富山県地域産業成長プラン
富山の強み×世界の潮流＝経済安全保障とウェルビーイングの実現

▼5つの重点分野（具体的な成長分野）

【地域産業クラスター計画】

認定済
①マテリアル
アルミやプラスチック等のサーキュラーエコノミーの推進
・富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

③半導体
半導体関連企業の大型投資

認定済
②バイオ・医薬品
国内最大級のバイオ医薬品CDMO工場の開設

③データセンター
AI時代を支える基盤づくり
➡国においてGX有望地域に選定

【地場産業成長プラン】

④コメ・コメ加工品
コメ及びコメ加工品（パックご飯、米菓、冷凍寿司等）の輸出拡大

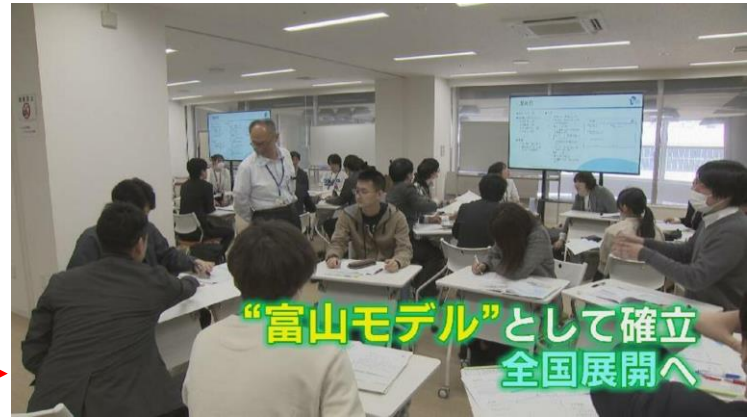
⑤ウェルネス・観光
健康食、伝統工芸等

クラスターの産業分野（ハード面）をさらに広げ、人々の生活や豊かさ（ソフト面）へつなげる
➡癒しの聖地・ウェルビーイング先進地域の具体化

▼なぜ選定したのか？

県の最上位計画との「整合性」	富山県が培ってきた「圧倒的強み」	世界的潮流と「経済安全保障・将来性」
・富山県総合計画	・日本海側屈指の工業集積	マテリアル：国内外のサーキュラーエコノミー移行の動き＋中東情勢の緊迫化による調達リスクの高まり
・富山県ものづくり産業未来戦略	・全国トップクラスを誇る「富山のくすり」	医薬品：国内生産やサプライチェーンの強化
・富山県地域未来投資促進計画	・恵まれた水資源、優れた物流網	半導体・データセンター：AI時代に対応できる国際競争力の強化

バイオ・医薬品分野では、富山県立大学で「バイオ医薬品製造人材育成講座」を開設



出典：チューリップテレビ（2025年5月7日）

② 教育改革

○「新時代とやまハイスクール構想」の実施方針を策定のうえ、議論・検討を進めており、国とも歩調を合わせ、**経済や地域社会の基盤となる人材育成に資する教育改革を進めていく。**

「新時代とやまハイスクール構想」実施方針

『こどもまんなか』の視点で考える
学びたい、学んでよかったと思える県立高校づくり

高等学校教育改革促進基金の創設
～N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール※構想～

各都道府県に基金を設置し、類型に応じた
高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及する。

- アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援
- 理数系人材育成支援
- 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

今後の採択に向け、申請中

R8.5拠点校として採択

魚津高等学校
（全日制/普通科）

小杉高等学校
（全日制/総合学科）

＝＝＝理系人材の裾野拡大＝「ウェルビーイングな学びの場」～余白の時間と学校外との連携～

⇒引き続き、行政・教育・産業が一体となって、教育改革の推進に努める。

③ リスキリング・人材還流

富山県

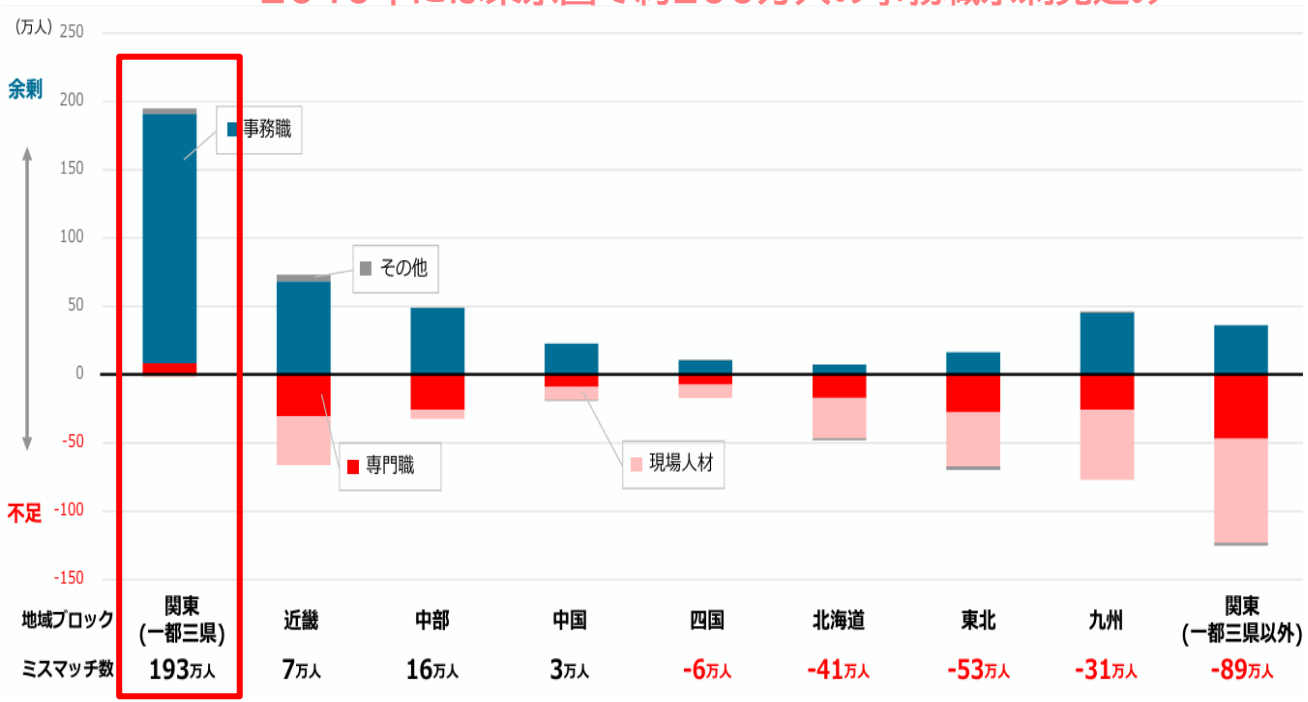
○ 東京圏で今後見込まれる**事務職を中心とした余剰人材と、地方で不足する現場職等を繋ぐ**ため、

リスキリング等既存の取組みを強化・発展させ、都市部人材が本県の現場で活躍する回路設計に取り組む

・富山県技術専門学院　　：エッセンシャルワークをはじめ様々な分野の人材育成プログラムを用意

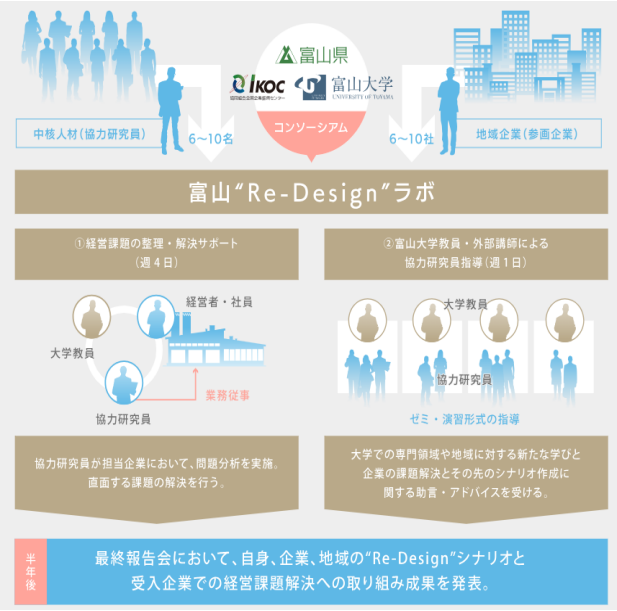
・富山“Re-Design”ラボ：首都圏等の中核人材が半年間富山に移り住み、大学でのリカレント教育を受けながら、県内企業の経営課題解決に取り組む

2040年には東京圏で約200万人の事務職余剰見込み



出典：経済産業省　2040年の就業構造推計(改訂版)について

既に実施している、リスキリングや人材呼び込み施策



人活パッケージ2.0の方向性（案）

富山県

（1）エッセンシャルワーク分野における継続的な対策

（2）地域経済の持続的な成長を支えるための人材確保・育成の取組み

①富山県地域産業成長プランに掲げる重点分野に沿った専門人材育成

②国と歩調を合わせた教育改革の取組み

③全国で見込まれる事務系人材の余剰感を踏まえたリスキリング（現場人材への労働シフト）・人材還流

今後のスケジュール

	令和8年6月	7月	9月	10月	令和9年2月～3月
人活本部	とやま人材活躍応援団 募集開始 （R8.6.4～）	全国知事会議 （R8.7.15～17） 「富山県地域人材戦略」を 知事から発信	○第1回本部会議 （R8.9.3） ・パッケージの展開状況共有 ・パッケージ2．0の方向性決議	とやま人材活躍応援団 連携ミーティング開催 （R8.10.8）	○第2回本部会議 （R9.2～3） ・パッケージ2.0のまとめ・共有 ・好事例の事例共有 （とやま人材活躍応援団も 交えた事例共有会の予定）
WG	○第1回WG （R8.6.25） ・令和8年度WGキックオフ	以下の取組みを実施 ・部局間の情報共有 ・勉強会、現場視察などを踏まえた施策検討		○第2回WG （R8.10中旬） ・施策検討状況の共有 ・意見交換、ブラッシュアップ	

方向性の提示

具体施策の提言

予算要求

ボトムアップ型かつ部局横断で実効性の高い人材確保・活躍推進施策を企画・立案するための、総勢80名の中堅・若手職員主体の本部下部組織

各部局への指示事項（本部長指示）

富山県

- 人活パッケージ**各施策の更なる展開**
  - 各部局所管団体への応援団への加入呼びかけ、応援団を通じた施策展開
- 人活パッケージ2.0の策定に向け、**効果的な施策検討の加速化**
- 「富山で働く価値」を体現する**好事例の創出、収集**
  - 各部局の施策活用による好事例の収集　など